



広報 ざいだん

2020年 (R2) 3月 No.15

公益財団法人 茄子川地域振興財団

岐阜県中津川市茄子川1317-4 TEL0573-68-5655
URL <https://www.nasubigawazaidan.com>

「ごあいさつ」

昨年5月、平成の30年間に幕が下り、令和の新しい時代が始まりました。平穏で豊かな時代の到来であることを祈念するものです。

近年、幸いにもこの地域では、大きな自然災害に見舞われてはおりませんが、全国規模では、地球温暖化による極端な集中豪雨による大規模で甚大な災害が頻発しております。

坂本の地が自然災害に見舞われることなく安心・安全であることがこの地で生活する上で最も重要なことと考えます。財団が管理する根の上高原北側斜面の森林は、急峻で脆弱な地質の上にあり、明治37年に坂本全域に大きな被害をもたらした大規模な土砂災害を繰り返さないよう防災・減災の観点から森林の造成を通じて山地災害から、住民の生命財産を保全する計画的・継続的な治山事業の実施が必要です。

豊かで、健全な森林には多面的な機能があります。水源の涵養、土砂災害の防止による土地の保全、快適な環境の形成、生物多様性の保全、文化教育機能などです。

昨年完成した第2展望台からの景観は、まさに絶景です。遠くに白山連峰、御岳山、中央アルプスの駒ヶ岳などの山々が一望できます。眼下の坂本の地は、古くは東山道、江戸時代には中山道、明治時代に中央線が建設され、今後、リニア新幹線が予定されています。交通の要所として変わってゆくふるさと坂本を展望台で、ぜひ、家族で語り合ってください。

令和2年3月

公益財団法人 茄子川地域振興財団
理事長 勝 佳朗



満面に水を貯える源根のため池

里山の維持管理の重要性と将来

森林には、様々な機能があります。

財団の定款第3条には、里山の自然環境の保護及び整備保全を掲げています。

森林は水源滋養の役割や、土壌浸食の防止、二酸化炭素の吸収、酸素の放出など、人が生きていくための多くの機能を有し、森林を守り育て後世に残していくことは、災害対策になるとともに地球温暖化の抑制にもつながっていきます。

財団の保有する森林の約8割は、水源かん養保安林と土砂崩壊予備保安林となっています。

このように保安林指定の側面から考えると、茄子川地域の過去に何度となく繰り返し経験した、大災害から守るための指定であったと考えられます。

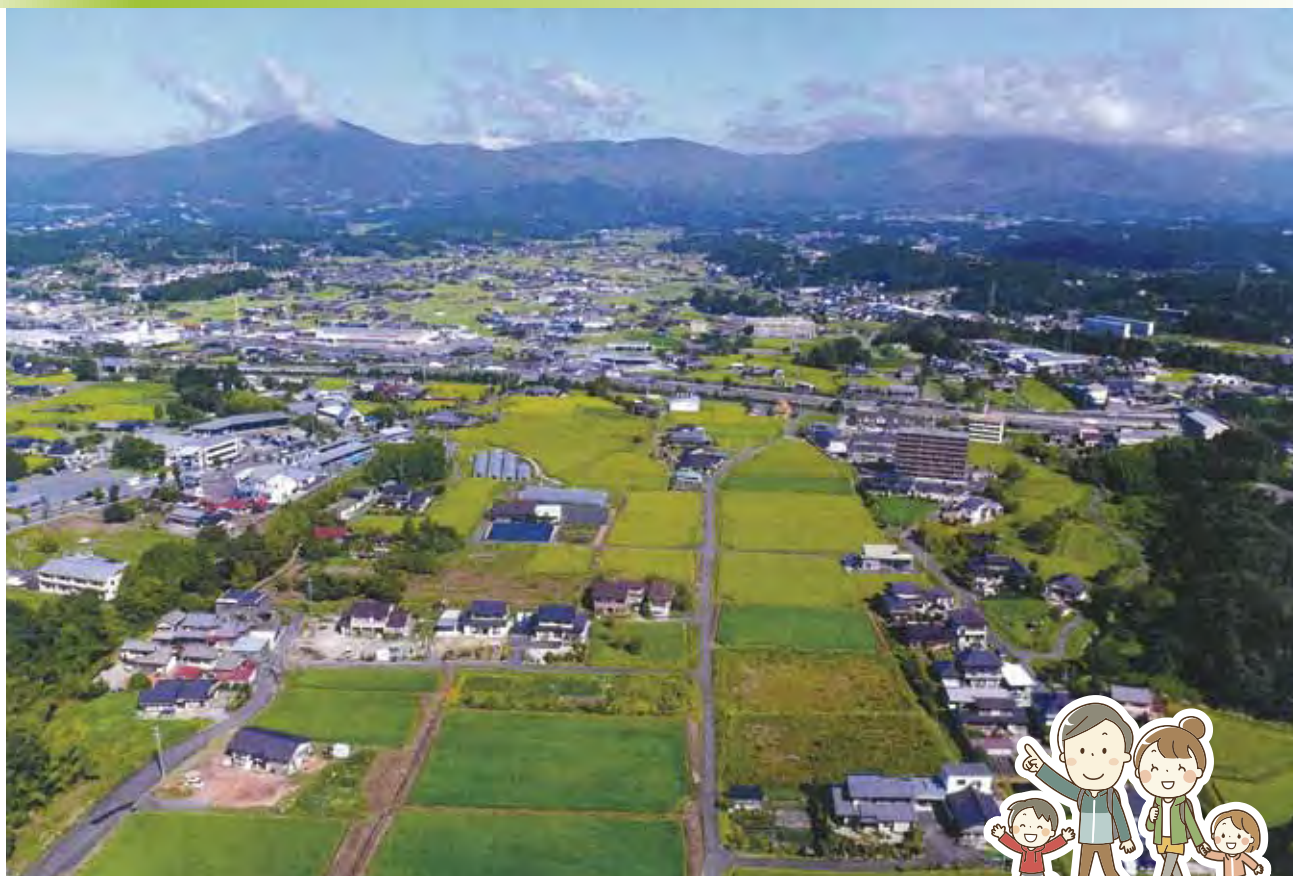
この源根里山を守ることは、財団の使命であるとともに併せて、地区住民の願いでもあります。

先人は、この山を深山と林して、永々に守ってきました。今日の少子高齢化社会が益々進む中、割山組合員も年々減少しています。組合の存立さえ危い状態にあります。この大切な里山をいかに守っていくか、地域みなさんと知恵を出して考えていかなければなりません。

それがため財団の存在意義が重要と考えます。



展望台からの眺望



展望台からは茄子川地域が眼下に広がり、遠くの山並みが眺められます。

御嶽山、笠木山、中央アルプス等すばらしい絶景を眺め、ここに登られた方から感嘆の声があがります。

事業の紹介

坂本小学校 源根のもり 社会見学

(令和元年9月24日)

学校主催の坂本小学校4年生(108名)「源根のもり社会見学」が9月24日に行われました。

子供たちは、財団関係者や県森林保全課係長さんから治山のことや里山の大切さについて学ぶとともに季節の自然を肌で感じ、展望台からの景色に歓声があがりました。



森のめぐみ塾 第2回 えと 干支づくり

(令和元年12月7日)

里山の木の実を活かした「お正月用干支飾り(ねずみ)」作り体験教室を開催しました。栗谷本先生の指導で35名の皆さんが、かわいい干支飾りを楽しみました。

指導員：自然体験工房「栗くり工房」 栗谷征二氏



毎年恒例 門松作り

(令和元年12月21日)

恒例となっている門松づくりを財団事務所前の広場(駐車場)で開催しました。正月の門松作りを毎年楽しみにしている多くの方が参加され、作り終えた後は「ぜんざい」に舌鼓を打たれてました。



事業の紹介

第7回 源根のもり健康づくり ウォーキング大会開催

(令和元年11月9日)

健康づくりと里山に親しむウォーキング大会を源根のもりで開催し、90名を超える参加者が季節の自然を満喫しながら展望台を目指しました。展望台では眼下に広がる絶景を楽しむとともに野外で弁当を食べるなどの楽しい一日を過ごしました。



源根ため池の概要

源根ため池が築造されたのは、昭和13年です。その後、昭和61年～平成4年に事業費約2億6千万円(国の補助約50%、残りは県、市、地元で負担)をかけて大改修され、当時の受益者は175戸でした。

ため池の長さは約150m、幅は4.6m、高さは12.5m、水面の深さは10.2m、貯水量は約8万6千 m^3 です。

源根ため池は、標高783.5mの源根里山の山腹に建設されており、茄子川地域約47haを灌漑、潤しています。そのため、源根ため池には、危険水位上昇を防ぐため、余水吐という構造を設け、ため池栓の開閉には手動ハンドルの施設を設置しています。

坂本地区は、昔から水に乏しいところで、源根の展望台から眺めるとため池が鏡のように光り、そのため池の多さに驚きます。

中津川地区のため池数は334ヶ所で、坂本地区では113ヶ所と約3分1を占めています。

源根ため池は、中津川市全体の781ヶ所中、13番目の貯水量です。

なお、坂本地区で1番大きいため池は、千旦林の新溜池40万 m^3 、旧溜池19.2万 m^3 、茄子川二軒屋溜池10万 m^3 、洗井沢溜池6万 m^3 、茄子川大池3.5万 m^3 となっています。

「市内で1番大きいのは坂下の椈の湖102.5万 m^3 です。」

お知らせ 財団のホームページ
<https://www.nasubigawazaidan.com>

Google やYahooで検索してください。

茄子川地域振興財団

